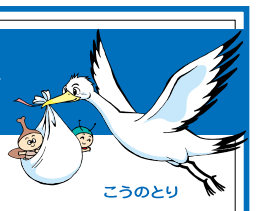
千葉県議会議員 河野としのりレポート
千葉県議会議員 河野としのりの県議会報告 令和5年3月16日発行



美浜区の為に

河野としのりの決意!!

高齢者の医療、福祉、支援、見守り、子育て支援事業の拡大、防災から美浜区民を守る。

高齢者の方が安心して在宅で暮らせるように医療、福祉、見守り、生活支援の充実

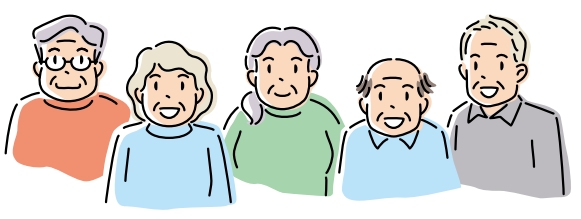
毎年の県政に関する世論調査によると、「高齢者の福祉の充実」の要望は、「災害対策」の次に高く、その中の高齢者福祉の具体的要望は、「在宅で暮らし続けるための医療、福祉、生活支援」が最も高い要望です。

美浜区の人口は15万3千人、その内65歳以上の高齢者の方は、26・3％の4万3百人です。更にその内21％の8千7百人の方が一人暮らしの高齢者であります。

内閣府の調査によると、ご近所との相談したり、相談されたりの、お付き合いコミュニケーションがあると答えた人は65歳以上で20・3％となっています。

よって寝たきり老人や一人暮らしのお年寄りの安否確認・見守りネットワークの充実強化が求められています。

また千葉県は特別養護老人ホームの待機者数は令和4年7月時点で、1万1千7百人にのぼり、入りたくても入れない状態が続いています。特別養護老人ホームの待機者解消に向け、整備床数を拡充するとともに、介護と医療の連携が図られている「サービス付き高齢者向け住宅」に対する助成も対象を拡大し整備を促進します。



住み慣れた在宅での高齢者の生活を支援するため、24時間対応の訪問介護・看護サービスの運営の充実強化に取り組みます。

子育て支援事業を拡大し、保護者負担を軽減します

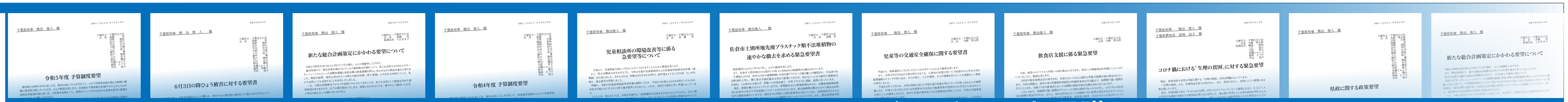
保護者負担を軽減が強く望まれ、働く女性の支援も叫ばれています。県では一時預かり（5億7千万）、延長保育（5億3千万）、病児保育（6億6千万）放課後児童のクラブに（42億3千万）等 59億9千万円を予算化し、0歳から2歳までの小規模保育、家庭的保育に35億5千万円、地域子育て支援拠点事業に6億2千万円、子ども・子育て支援制度の関連事業に県は356億4千万円算を予算化しています。

**短時間勤務制度の普及
更に女性の再就職支援も推進致します。**

熊谷知事に要望する河野としのり県議

会派で提出した要望書の一例

- ●コロナ禍における「生理の貧困」に対する緊急要望
- ●飲食店支援に係る緊急要望(まん延防止等重点措置の延長において)
- ●児童等の交通安全確保に関する要望書
  （八街市　飲酒運転による児童5人死傷事故から）
- ●佐倉市上座プラスチック類不法堆積物の撤去を求める要望書
- ●児童相談所の環境改善等に係る緊急要望　　など

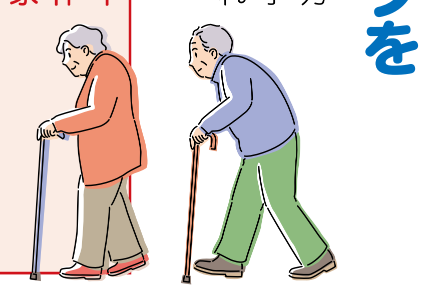


常に同じ想いの同志と熊谷知事に要望する河野としのり県議

認知症の予防と医療体制の整備、家族を支えるネットワークを

認知症について、県下でも令和7年には、約35万人となり、高齢者の5人に1人が認知症になると予想。国では、令和7年には約700万人と予想されています。

認知症の予防の推進、早期発見・早期治療の医療体制の整備、相談体制の整備、認知症高齢者とその家族を支えるネットワーク作りも緊急を要し、認知症対策支援事業等、しっかりと取り組んで拡大充実してまいります。



認知症高齢者とその家族を支えることを訴える河野としのり県議
令和３年３発行　県議会レポートより

医師・看護師を確保し救急医療、診療科体制維持など医療サービス体制の充実

千葉県の人口10万人当たりにおいて、医師数は206人、都道府県中、下から5番目です。

看護師数は770人、これも下から数えて2番目、病院の数も4・6、下から5番目で、病床の数は952床と下から5番目です。

全国の最下位レベルの医療サービス状況が続き、病院の休止、診療科の休廃止、救急医療からの撤退も増えています。医師や看護師不足を解消し、確保と定着を図り、診療科の体制維持、救急医療の充実など、医療サービス体制を向上の為、医師不足病院医師派遣、医師修学資金貸付促進事業、病院内保育所運営、看護士養成など、医師・看護師を確保の22億円の予算化を進めました。

千葉市において医療サービスの充実を求める河野としのり県議
令和５年１月発行　県議会レポートより

学力低下を起こさない、いじめの無い学校教育を推進

千葉県の令和4年4月の全国学力・学習状況調査では、小学生、中学生 平均以下であります。千葉県の令和4年度の全国学力調査においては小学生14位 中学生31位。関東の中では東京、神奈川、埼玉について4番目の学力にとどまっています。

学力向上のためには、少人数学級、習熟度別授業、授業のサポート体制、教職員の資質向上などあらゆる施策を進めます。

学力向上総合プラン推進に3億2千万円を予算化、児童の学力及び学習意欲向上を図る為に小学校専科非常勤講師の配置事業の為に4億6百万円を予算化しました。

又いじめ対策の推進のために、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーターの配置11億5千万円を予算化をしました。虐待防止対策の為の非常勤講師配置に9千万円を予算化しました。

行政改革を断行し、借金の山を子ども達に残さない。

千葉県の県債残高は、令和4年の単年度予算2兆3200億円を7千億円も超え、利子を加えると、3兆1千5百億円となり、県民一人当たりの県の借金は50万円（正確には48万9千円）に上ります。

なれ合いに陥る民間と行政の談合を当然許さず、競争入札を徹底し、税金を効率良く使います。財政再建に真剣に取り組み、税金を一円たりとも無駄にせず、借金の山を次世代の子ども達に残さない。これを徹底いたします。

振り込め詐欺、悪質商法、交通事故から高齢者を守る

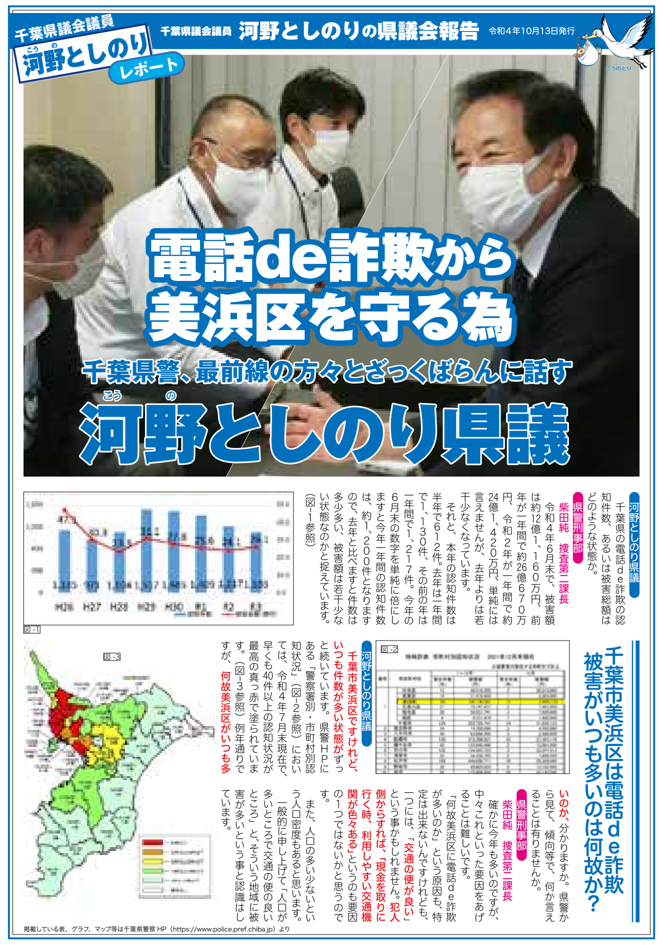
振り込め詐欺（電話de詐欺）の被害は98％が高齢者です。令和4年12月末の認知件数1457件、被害額約34億円です。千葉市美浜区も最近の数値は発生件数は約35件、被害額も1億円を超し、最近の千葉市全体130件、被害額3億2千万円の中で美浜区は一番の高い被害となっています。

犯人の摘発強化を推進し、高齢者を電話de詐欺から守ります。

送りつけ商法、ねずみ講・催眠商法など悪質商法に係る相談の約3割は高齢者となっています。消費者トラブルの相談・救済、悪質な事業者の指導・処分を強化推進し、高齢者を悪質商法の被害から守ります。

更に、交通事故死者数の内その5割以上が高齢者であります。

令和4年中の県内交通事故死亡者124人中64人（51・6％）が高齢者です。夕方の薄暗い時から夜間にかけて高齢者の道路横断中の事故防止、交通事故多発箇所の点検、整備、交通取り締まりを強化し高齢者を守ります。



電話de詐欺対策を訴える河野としのり県議
令和４年10月発行　県議会レポートより

豊かで安心して暮らせる千葉市を!!

神谷千葉市長と河野としのり県議

大地震、異常気象の災害から美浜区民を守る

県政への要望の中で「災害から県民を守る」は一番高く、その中でも「災害時の支援、救援活動」が強く求められています。世界の気候変動、異常気象により、千葉県も2019年の台風15号・19号など、今までにない暴風被害を受け、今後も予測されるのは、従来の常識を超えた高潮被害です。今多くの日本の地域で、スーパー台風が絶えず北上し、猛烈な風速による吹き寄せ、中心気圧の低下による吸い上げにより、過去にない高潮被害となっています。

高潮対策は埋め立ての美浜区にとって切実です。県も高潮浸水想定区域図を発表しています。しかし、最大クラスの台風を想定したとはいえ、美浜区の内陸でも浸水深3メートルを超える所もあります。海岸整備と共に、県と市が協力して詳細なハザードマップ作成など避難対策を進めて行きます。昨年、令和4年8月、県は東京湾沿岸海岸保全基本計画に関する内湾検討会を設置し、気候変動を踏まえた東京湾沿岸海岸保全基本計画の見直しを決定し堤防の高さ、避難の方法など再検討に入りました。

昼間直下型地震が起きた時の帰宅困難者の救済

千葉市は、震度6弱以上の地震が今後30年以内に全国でも高い発生確率の土地柄です。

特に美浜区の通勤、通学者は、東京都に2万1千人、都内以外に1千5百人に上り、昼間、直下型地震が起きて美浜区に帰宅する場合は、5本から7本の橋を渡って帰らねばならない。大地震の時、橋は真っ先に通行止めになる可能性が高く、よって都内に留まる帰宅困難者の救出が美浜区民にとって切実です。船舶、水上バスの運行で帰宅難民となった千葉県民を都内から大量に救出する対策を推進します。千葉県の帰宅困難者は、東京都内74万人千葉県内73万人の合計147万人で、災害時帰宅困難者の救済はしっかり取り組みます。

災害時要支援者の救出を

美浜区は、災害時、避難行動要支援者は高齢者の要介護認定の方や体の不自由な方、難病を持つ方など4千人を超しておられます。

防災部局は、災害要援護者の実態を、予め福祉部局等と協力して災害時要援護者をしっかり把握し、避難支援個人計画書を促し、迅速な初動体制、確実に進めます。

河野としのり プロフィール

昭和48年	早稲田大学理工学部卒
50年	早稲田大学大学院修士課程修了
同年	東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年	千葉県議会議員初当選
16年	千葉県監査委員
17年	防災対策委員
20年	民主党県連幹事長
令和元年	千葉県議会議員7期当選
現在	立憲民主党千葉県連合会代表代行

●河野としのり事務所●
〒261-0013 千葉市美浜区打瀬1-2-2 幕張パークタワー305
TEL.043-211-0024

こうのとり